

# ご協力ありがとうございました 第46回 米州開発銀行 (IDB) 年次総会 第20回 米州投資公社 (IIC) 年次総会

2005年4月10日から12日まで、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターを主会場に行われたIDB年次総会及びIIC年次総会。県民の皆さまの多大なるご協力の下、成功で幕を閉じた総会及び関連イベントの様様をご紹介します。



開会式(4月10日)の様

## 多数国間投資基金の増資等を合意

日本では十四年ぶり二度目の開催となった今回の総会に、世界四十七カ国から政府代表団や金融関係者など約六千七百人(うち海外千三百人)が参加しました。

会議では、中南米諸国の零細企業や人材育成等を支援する多数国間投資基金(MIF)の増資規模を五億八百二十二万ドル(約五百四十億円)とすることなどが了承されました。また、今回から、韓国がアジアで二番目のIDB加盟国として参加したことで「中南米諸国とアジアとの経済連携強化」については特に活発な議論が行われました。その中で、日本と韓国は、中南米との自由貿易協定(FTA)などを通じて貿易・投資を活発化させる役割を果たすことが表明されました。



総会関連セミナーにも多数が参加



覚書調印後に握手を交わす与那嶺真次WUB国際ナショナル会長(右から2番目)とジャック・ロブジェスキーIIC社長(右)

## WUBと米州投資公社(IIC)が覚書に調印

総会の始まった四月十日、世界に広がる豊素人のビジネスネットワークWUB(ワールドワイド・ウチナーンチュ・ビジネス・アソシエーション)インターナショナルとIDBグループで中小民間企業を支援する米州投資公社(IIC)は覚書に調印し、WUBが民間銀行に比べ低い利率での融資も可能となりうるIICからの融資を前提とした情報交換等を行うこととなりました。

## 地元ボランティアの活躍

今回の総会には多くのボランティアスタッフが活躍に支えられました。

空港における受け入れ業務に始まり、ホテル・会場等での誘導や案内業務など、一般ボランティア百五十六人、語学ボランティア三百六人の総勢四百六十二人が沖縄のホスピタリティを素晴らしい笑顔とともに発揮しました。総会参加者からも「スタッフの対応は、今まで一番素晴らしい」との声を多くいただきました。



会場で案内業務等をこなすボランティアスタッフの皆さん

## 世界的なコンベンションアイランドに向けて

総会を終えたイグレシアスIDB総会から、「沖縄でのIDB総会はいくかの期待を大きく上回り、成功を



エンリケ・イグレシアスIDB総会、上田勇財務副大臣、稲嶺知事による閉会式後の合同記者会見



閉会式(4月12日)の様

収めた。これで沖縄のコンベンション開催地としての力が十分立証された。今後、沖縄は最も質の高い「ハイレベルコンベンション」を目指せる」とコメントがありました。

まからいただいた物心両面からの多大なるご支援に深く感謝します。なお、IDB加盟国で開催されるこの年次総会、次の開催地はブラジルのミナスジェライス州に決定しています。